<地域型住宅グリーン化事業に対する取組み>（長寿命型・高度省エネ型・省エネ改修型・優良建築物型共通）　　<様式3－1>

Ⅰ．平成30年度の取組みの実績

グループ名称	次世代快適健康住宅を考える会「岩手中央」
H30採択グループ番号	07 — 0519 — 0059

A H30年度にグループとして力を入れた取組み

内容	当グループで一番取組んだのは高断熱・高気密住宅の供給です。冬季にはマイナス10度以下になる当地域において快適に過ごす為には断熱・気密・換気について計画し標準施工を守り施工しなければなりません。また高断熱高気密住宅に取組む事は、未経験工務店様が意欲的に各性能住宅に取組み最終的に、グリーン化事業の補助金を活用する良いきっかけとなりました。グループ事務局としては発信し続けたオリジナル商品の断熱材・換気システムをお客様に広くPRし活用して頂く活動に力を入れて取り組みました。

B 各種説明会・研修会の実施について

①事業	事業実施説明会	有	開催日	2018/05/17	名称	平成30年度地域型住宅グリーン化事業説明会			●
	内容	平成30年度グリーン化事業についての説明会を開催。グリーン化事業の概要説明。グループのルール・地域型住宅の説明を行って、質疑応答とフリートークを行いグリーン化事業についての情報を集まった方々で共有しました。							
②消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2019/03/08	名称	住まいの創造展			●
	内容	（株）吉田産業主催「住まいの創造展」内にて、ハウスプラス住宅保証（株）様とYSサポートセンターの両ブース内で一般来場のお客様向けに個別説明会行い、住宅補助金の説明の中でグリーン化事業の補助金について概要の説明を行いました。							
	消費者説明会 2	有	開催日	2018/07/21	名称	第2回新築リフォームフェアinいわて			●
	内容	（株）吉田産業岩手県内各支店主催の消費者向け展示会を開催。出展社様のハウスプラス住宅保証（株）様内ブースに補助金コーナーを設けて頂いて、その中にグリーン化事業の説明も掲示して広くお客様にPRを行い、個別に質疑応答を受けました。							
③工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2018/08/24	名称	平成30年度地域型住宅グリーン化事業採択説明会	タイプ	座学	●
	工務店研修会 2		開催日		名称		タイプ		
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ		
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ		
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ		

C 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有		●
	内容	長期優良住宅・認定低炭素住宅・性能向上住宅・ゼロエネ住宅を満たす住宅を建築した事が無い施工業者に対し、（株）吉田産業YSサポートセンターのサービス内容をPRを行いました。その中で未経験の施工業者様には申請代行サービスを活用して頂き基準を満たす建物を建築して頂きました。		
取組み②	サポートの有無 2			
	内容			
取組み③	サポートの有無 3			
	内容			

D 住宅履歴情報の蓄積について

① 履歴情報預り証の発行件数	発行済	0	発行予定	0	
② 住宅履歴情報の保管先	自社	機関名			

E 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有	
内容	グループ構成員の工務店と協議し維持保全の対応を行います。また廃業時の対応としては、各補償制度の活用促進、提携弁護士に相談等の対応を依頼します。	
② H30年度における施工構成員の廃業	無	
対応内容		

F 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組 ①	有	
内容	（株）吉田産業ハウジング加工センターで製作しているYSオリジナル断熱パネルを各施工業者様に紹介を行い、高い断熱性能と省施工の良さを発信し続けました。	
省エネ化に対する取組 ②	有	
内容	開口部が住宅の省エネルギーにの向上に大きく寄与する為、YKKAP（株）の樹脂サッシAPW430のPRを担当営業と共に行い、性能の低いサッシを継続して採用されている施工業者様を中心にPR活動を行いました。	
BELS工務店の登録数	4 社	

<地域型住宅グリーン化事業に対する取組み>（長寿命型・高度省エネ型・省エネ改修型・優良建築物型共通）　　<様式3－2>

Ⅰ．平成31年度の取組みの計画
（1）グループの信頼性と技術力の向上に向けた取組みの計画

グループ名称	次世代快適健康住宅を考える会「岩手中央」				
H30採択グループ番号	07	—	0519	—	0059

A 各種説明会・研修会の実施について

①事業	事業実施説明会	有	開催日	2019/05/15	名称	平成31年度グリーン化事業説明会			
	内容	弊社とお取引のある工務店様を対象に、グリーン化事業の説明会を行います。主に未経験工務店様を中心にPRを行いました。説明内容はグリーン化事業の意義と概要について説明となります。岩手の風土に合った良質でかつ、省エネ住宅の建築についてグループ内で意見を出し合いグループ内での理解を深めて頂く説明会とする予定です。							
②消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2019/09/14	名称	第三回新築リフォームフェアinいわて			
	内容	（株）吉田産業の岩手県内各支店合同の展示会を開催する予定があり、その中でハウスプラス（株）様、YSサポートセンターの合同でのブースを設けて、来場された一般のお客様に対して、補助金制度、性能住宅（主に長期優良住宅とゼロエネ住宅）の説明を行いPR活動を行う計画です。							
	消費者説明会 2	有	開催日	2019/10/26	名称	工務店様現場見学会へ出展			
	内容	各工務店様の現場見学会に出展し、来場されたお客様。また、契約前、契約中の着工前のお客様を対象として個別ではありますが説明会を開催予定です。開催にあたっては事前に各工務店様より現場見学会の日程をお聞きして出展の調整を行います。							
③工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2019/08/28	名称	次世代快適健康住宅を考える会～定期講習～	タイプ	座学	
	工務店研修会 2	有	開催日	2019/10/09	名称	次世代快適健康住宅を考える会～定期講習～	タイプ	座学	
	工務店研修会 3	有	開催日	2019/12/11	名称	次世代快適健康住宅を考える会～定期講習～	タイプ	座学	
	工務店研修会 4	有	開催日	2020/02/12	名称	次世代快適健康住宅を考える会～定期講習～	タイプ	座学	
	工務店研修会 5	有	開催日	2020/03/18	名称	次世代快適健康住宅を考える会～定期講習～	タイプ	座学	

B 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有	
	内容	長期優良住宅・低炭素住宅・性能向上住宅・ゼロエネ住宅を満たす住宅を建築した事が無い施工業者に対し、（株）吉田産業YSサポートセンターのサービス内容をPRし、サポートセンター担当者と施工業者様へ同行し、性能を満たす住宅の設計・施工をサポートします。補助金申請にも事務局も積極的に係わってサポートします。	
取組み②	サポートの有無 2	有	
	内容	各性能住宅の建築。補助金の活用にあたっては消費者の理解が必要となる為、工務店様が消費者の方へ説明が簡単に出来る補助金のガイドブック等の製作を検討し、消費者に向けて活用して頂いて各性能住宅の建築と補助金活用のきっかけ作りとします。	
取組み③	サポートの有無 3	有	
	内容	先行している経験工務店様の活用事例を、グループ事務局で取りまとめ、個人情報や営業的な部分を除いてから未経験工務店様へ情報として提供し、消費者様への説明。各性能住宅の設計と建築へ役立てて頂く。	

C 住宅履歴情報の蓄積について

住宅履歴情報の保管先	自社	機関名	

D 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有	
内容	グループ構成員の工務店と協議し維持保全の対応を行います。また廃業時の対応としては、各補償制度の活用促進、提携弁護士に相談等の対応を依頼します。	

E 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組み （新築）	有	
内容	計画の段階で、大前提として地域区分以上のUA値になるようにします。暖房期の日射取得と冷房期の日射遮蔽の両立が図れる様に庇や窓、ガラスの特性をよく理解して計画・採用していき、また躯体性能を十分に上げておくことで建設当初導入した設備が更新されても一次消費エネルギーが標準の▲10%を維持出来る様にします。	
省エネ化に対する取組み （改修）	有	
内容	開口部が住宅の省エネルギーにの向上に大きく寄与する為、YKKAP（株）の樹脂サッシAPW430のPRを担当営業と共に行い、性能の低いサッシを継続して採用されている施工業者様を中心にPR活動を継続します。	

F 省エネ改修に関する研修の計画

研修計画 ①	有	実施日	2019/10/09	
内容	開口部の断熱性能向上が省エネへ寄与する事から、YKKAP（株）様を講師として、開口部の断熱改修。主に内窓プラマードU、マドリモ。ドアリモの商品説明会を開催予定です。			
研修計画 ②	有	実施日	2019/12/11	
内容	壁・床の断熱として、マグイゾベール様、富士化学工業様より断熱改修工事にあたり、壁・床・天井の断熱施工にあたっての注意点すべき点、標準施工方法の説明戸と、各種断熱材の商品説明会を開催予定です。			

<地域型住宅グリーン化事業に対する取組み>（長寿命型・高度省エネ型・省エネ改修型・優良建築物型共通）　　<様式3－3>

Ⅱ．平成31年度の取組みの計画
（2）地域型住宅及び生産体制の整備に関する計画

グループ名称	次世代快適健康住宅を考える会「岩手中央」				
H30採択グループ番号	07	―	0519	―	0059

A 提案する地域型住宅の特徴

内容	積雪が1Mを越え、更には盆地ならではの気候で冬はマイナス10度以下になる寒冷地である為、冬期間における生活の負担軽減を考えた家作りの設計と施工を行います。具体的には十分な断熱性能を確保した設計と施工を行い、室内環境を良好に保ち、ヒートショックなどを未然に防ぐ家作りを行います。	

B 地域材の利用に関する共通ルール

①-1 1棟当たりの主要構造材地域材の使用割合	50%未満		50%以上	■	80%以上		

①-2 地域材の使用部位			② 地域材の利用に関する補足説明
主要構造材	土台	有	当グループで使用する地域材としては、岩手県産材・国産材・合法木材（国内・国外）のいずれかとして、主要構造材に採用して、構造部分の強度を担保します。
	柱	有	
	梁・桁等の横架材等	有	
羽柄材	間柱、根太、垂木等	無	
造作材	枠材、廻縁等	無	
板材	壁板、床板等	無	

C 生産体制の整備と生産性向上に向けた取組み

① 地域材の調達の共同化に向けた取組み	有	
内容	地域材の調達はプレカット業者様の協力が大きい為、プレカット業者様へ2ヶ月に1回程度、市場状況の聞き取りを行って、施工業者様に対し発信をしていく。グループ全体で共通認識を持つ事で地域材調達の共同化に取組んでいきます。	
② 建材・特定資材の調達の共同化に向けた取組み	有	
内容	建材・住設メーカー様と協同して作成した「YSオリジナルプラン」「パッケージ商品」を製作し、各施工業者にて活用してもらいます。更に、一括仕入れを行う事によりコストダウンを図ります。	
③ 地域材・建材・資材の在庫供給情報の共有化	有	
内容	グループ事務局・建材、住設メーカー、プレカット供給会社が中心となり、施工業者に対し市場の動きと在庫状況を定期的にメール、FAXを活用して適宜発信していく事にします。	
④ 施工に関する統一ルール	有	
内容	施工業者様を中心に、主要部分における施工基準マニュアルを協議して、ガイドラインを作成。またメーカーが出している施工マニュアルを基にして正しい手順で施工するように統一のルールとします。	
⑤ 住宅のメンテナンスに関する統一ルール	有	
内容	メーカー各社のメンテナンス部門との連携により、急なトラブルにも対応出来る迅速なアフターフォロー体制を整備します。	
⑥ 施工検査（瑕疵担保責任保険の検査以外）	有	
内容	検査基準項目からなるチェックリストを用いて、各構成員の社内検査を基本とします。また必要に応じて第三者機関の検査や、性能評価等の検討を行います。	
⑦ 見積りに関する統一ルール	有	
内容	統一の価格表を作成し見積りに掛かる時間の短縮を図ります。また見積、積算をするにあたりソフト、WEBシステムの導入も検討して合理化を図ると共に、操作について必要であればメーカーの指導も受けます。	
⑧ その他の共通ルール	無	
内容		

D 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備に対する取組み

① 週休2日制の導入の取組	有	内容	構成員が所属する会社単位で週休2日が取れる様に勤務日数を設定し、ローテーションを作成して取組みます。
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	有	内容	構成員が所属する会社単位で技能者や資格所有者に職責に応じた処遇の対応に取組んでいます。
③ 社会保険への加入	有	内容	構成員全てが加入済みです。
④ 建設工事従事者の安全及び健康の確保のための取組	有	内容	構成員が所属する会社単位で安全衛生委員会を立上げ、安全及び健康の確保に向けた取り組みを話し合っています。

<地域型住宅グリーン化事業に対する取組み>（長寿命型・高度省エネ型・省エネ改修型・優良建築物型共通）　　<様式3－4>

Ⅱ．平成31年度の取組みの計画
（3）地域の産業・住文化・景観等に関連する計画

グループ名称	次世代快適健康住宅を考える会「岩手中央」				
H30採択グループ番号	07	―	0519	―	0059

A 地域の産業・住文化・景観等、和の住まいの取組みに関する対応

① 畳の活用	無	内容	
② 和瓦の活用	無	内容	
③ 襖・障子の活用	無	内容	
④ 地域の伝統的素材の活用	無	内容	

B 地域の住文化に関する取組み

① 地域の伝統的なデザインの継承	有	内容	伝統的なデザイン・技術を継承する為、熟練した職人から技術を学ぶ場を設ける。
② 地域の住まい方の継承	有	内容	地域の方々との交流を深めるイベントを検討・実施する。
③ 地域の街並み形成への配慮	有	内容	建築地の景観等に配慮する。

C 被災地の復興に資する取組み

①東日本大震災・平成28年熊本地震・平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震の復興に資する取組み 当グループは被災地の為、グループ一丸となり復興住宅建設に寄与する。被災者に向けて、補助金等の情報を提供します。
②地域型住宅の供給地域において災害等が発生した場合に検討している取組み